

平成27年度 教育局主要事業

1. 仙台市実施計画における重点事業

(1) 100万人の復興プロジェクト

○ 震災に伴う児童生徒の心のケア 32,363 千円

震災の影響による児童生徒の心のケアを適切に行うため、被災校をはじめとした市立学校に対し、スクールカウンセラーの配置の充実や「心とからだの健康調査」を行うなど、学校における中長期的な取り組みを実施する。

○ 新たな防災教育推進事業 8,888 千円

震災の教訓・体験を踏まえ、本市の学校教育における新たな防災教育の充実に資するため、推進取組発表校を指定し、学校や地域の実態に応じた取り組みを行うとともに、文部科学省より研究開発学校（1校）の指定を受け、防災安全科の創設など先導的な研究を行う。また、本市独自の防災教育副読本の改訂を行い、全市立小中学校に配付する。

- ・ 新たな防災教育推進 3,143 千円
- ・ 防災教育副読本改訂 5,745 千円

○ 震災・復興資料等アーカイブ（記録や資料の収集・保存・提供） 17,535 千円

・ 東日本大震災資料収集 1,884 千円

今後の防災対策等の各種事業の参考とするため、東日本大震災に関連する各種資料を収集・保存する。

・ 震災の記録・市民協働アーカイブ事業 15,651 千円

せんだいメディアテークの「3がつ11にちをわすれないためにセンター」において、市民・専門家・スタッフの協働により、復旧・復興のプロセスを市民が独自に記録し、発信するとともに、収集した映像等をアーカイブとして保存する。

○ 児童生徒による故郷復興プロジェクト 1,609 千円

震災からの復興に向け、関係機関と協力しながら、児童生徒が地域全体の意識高揚につながる活動に取り組む。

(2) 暮らしを支える公共施設等の復旧

○ 教育施設等災害復旧 187,364 千円

・ 学校施設災害復旧 115,408 千円

重度に被災した蒲町小校舎、南光台小校舎の改築工事の完了に伴う仮設校舎の解体や簡易校庭整備等を行う。

・ 仙台城跡災害復旧 70,348 千円

東日本大震災で被災した国史跡仙台城跡の復旧工事等を行う。

・ 指定文化財保護補助 1,608 千円

東日本大震災で被災した指定文化財の災害復旧について、所有者の実施準備が整い、希望があった事業について、補助金を交付する。

(3) 都市像の実現を牽引する重点施策

○ ミュージアム連携 23,634 千円

ミュージアムの発信力を高め、多面的な学びの機会を創出するため、仙台・宮城地域のミュージアム施設の共同事業体である「仙台・宮城ミュージアムアライアンス（SMMA）」において、情報発信や連携事業に取り組む。

- **確かな学力育成（予算額に一部再掲あり）** 1,132,429 千円
- ・ **標準学力検査及び生活・学習状況調査** 86,876 千円

確かな学力を育成することを目的に、学力の現状及び課題を把握・分析し、教育施策等の基盤を充実させるため、本市独自に小学校3年生から中学校3年生までを対象とする標準学力検査、及び小学校2年生から中学校3年生までを対象とする生活・学習状況調査を実施する。
 - ・ **教科指導エキスパートの派遣** 7,125 千円

教科指導に優れた教科指導エキスパート（退職校長や退職教員等）を活用し、チームティーチングなどの授業補助や模範的な授業などを行い、若手教員の指導力向上を図る。
 - ・ **小学校低学年少人数指導の推進** 126,386 千円

一人一人の個性に合わせたきめ細かな指導を行い、児童が円滑な学校生活を送ることができるよう、小学校1、2年生において非常勤講師を配置し、少人数指導等を実施する。また、学級編制の基準が35人から40人となる小学校3年生においても同様に、学級数減となる学校等を対象として非常勤講師を配置する。
※すべて人件費
 - ・ **小学校高学年教科担任制の推進** 38,210 千円

小学校から中学校への進学にあたり、システムの変化や学習内容の高度化による不安など、いわゆる「中1ギャップ」が問題とされている。小学校高学年における教科担任制を実施することで教師の専門性を生かして、質の高い授業を展開することにより、分かる授業・魅力ある授業の実現を図り、中学校生活への不安の払拭を図る。
※すべて人件費
 - ・ **中1数学少人数指導の実施** 67,602 千円

論理的思考力の育成に大きな役割を果たす数学に関し、抽象的な考え方の理解に大きな差が生じる中学校1年生において、少人数学習などによるきめ細かな指導を行うため、非常勤講師を配置する。
※すべて人件費
 - ・ **小1生活・学習サポーターの配置** 2,959 千円

入学したばかりの小学1年生が、早く集団に慣れ、小学校の中で安心して学校生活を営むことができるよう、また学習に落ち着いて取り組める環境をつくるために、1年生のクラスに地域の方々や保護者が入り、担任のサポートを行う。
 - ・ **小学校理科学習アシスタント** 7,251 千円

小学校の理科授業における観察・実験活動の充実と教員の資質向上に向けて、外部人材を理科学習アシスタントとして採用する。
※人件費 6,931千円、物件費 320千円
 - ・ **学校教育上の諸課題に対する調査研究** 946 千円

学校教育上の諸課題から調査研究テーマを選定し、調査研究協力校との共同研究を行うとともに、教員研修等を通して調査研究の成果を市内各学校現場に広く提供することで、教員の力量向上を図る。
 - ・ **教職員指定研修** 3,194 千円

教職員の実践的指導力や資質の向上を図ることを目的に、ライフステージに応じた指定研修を行う。特に、指導法改善や法令遵守意識徹底及び学校運営力向上に係る研修を再構築し、教員研修の一層の充実を図る。
 - ・ **情報モラル教育推進【新規】** 1,120 千円

情報化が進展する中、児童生徒が自ら判断して行動できる資質、能力の育成を図るために、児童生徒に対し、学校と家庭における指導のバランスを取りながら情報モラル教育を効果的に行えるように、教員向け及び保護者向けの資料等を作成・配布する。

- **学校教育施設整備** 5,989,284 千円
- ・ **学校新增改築** 4,348,205 千円
 良好な学校教育環境の確保のため、児童数増加に伴う分離新設や、教室不足に対応するための校舎増改築、老朽化した校舎等の増改築及び校庭整備等を行う。平成27年度は、上山通小、岩切小、岩切中の増改築工事、(仮称)広瀬第二中建設基本設計等を予定。
 - ・ **学校施設維持修繕** 1,641,079 千円
 市立小・中学校保健室や小学校音楽室への空調設備の整備、災害時に避難所となる学校体育館へのひろびろトイレ設置、その他校舎や体育館の大規模改造等を行う。
 - ・ 学校保健室空調設備整備（中学校38校への導入） 44,511 千円
 - ・ 音楽室空調設備整備（未設置小学校11校分の設計）【新規】 4,730 千円
 - ・ 大規模改造事業（小学校3校、中学校1校） 67,300 千円
 - ・ 体育館トイレ改修設計（小学校8校、中学校6校）【新規】 15,000 千円
 - ・ その他学校維持補修 1,509,538 千円
- **中学校区・学びの連携モデル事業** 4,432 千円
 社会的自立の基礎を身に付けたたくましい子どもを育成するために、標準学力検査及び生活・学習状況調査の分析による現状・課題の把握、協働型学校評価、学校支援地域本部、自分づくり教育などの教育施策を有機的に関連づけ、8中学校区を指定して実践と検証を行う。
- **学校支援地域本部事業【拡充】** 48,240 千円
 市民の生涯学習の成果を生かしながら、学校・家庭・地域が一体となって地域総ぐるみで豊かな学校教育環境を創出する。平成27年度は、現在66ある本部を76本部に拡充。
- **健やかな体の育成プラン推進(健康教育推進校指定)** 500 千円
 市立小・中学校6校において、学校体育、学校保健、食育の三分野を総括した実践研究を進めるとともに、各学校への健康教育推進に関しての普及啓発に努める。
- **放課後子ども教室【拡充】** 31,256 千円
 放課後の小学校施設等を活動の場として、学習支援のほか、子どもたちに豊かな体験活動や地域住民との交流活動の機会を提供する。平成27年度は新規開設1校を加え、計24校で実施。
- (4) **仙台の未来に責任を持つ都市経営**
- **市民センターによる地域づくり支援** 24,788 千円
 市民自らが地域課題に向き合い、住み良いまちづくりに取り組むことができるよう、市民センターにおいて地域の多様な活動を担う人材の育成や地域の諸団体と関係機関とのコーディネート、地域情報の収集・提供などを行う。
 - **(仮称)南吉成学校給食センター整備** 6,252 千円
 老朽化が進んでいる加茂学校給食センターと宮城学校給食センターを統合し、新たな学校給食センターの整備を進めるとともに、学校給食センター対象校における食物アレルギー対応食提供の拡充を図る。
 - **学校給食費公会計化【新規】** 1,056 千円
 私会計となっている単独調理校の給食費を公会計化するため、学校給食費に係る会計事務を効率的に処理する給食会計管理システムの導入効果調査等を実施する。
 - **科学館PFI導入検討** 20,161 千円
 科学館の長寿命化、魅力の向上等を図るために実施する施設の大規模改修において、より効果的、効率的に整備を進めるため、アドバイザーの支援を受けながら、PFI手法の導入について具体的な検討を進める。

2. その他の主要事業

- **仙台自分づくり教育推進事業** 62,165 千円
- ・ **自分づくり教育の推進** 9,635 千円
生き方教育を含めたキャリア教育等の充実が教育課題として全国的に指摘される中、児童生徒の将来の「社会的・職業的自立」を目指して、地域や家庭と連携を図りながら、小学校から高等学校までの発達段階に即した仙台版生き方教育を推進する。
 - ・ **仙台子ども体験プラザ運営管理** 52,530 千円
カタールフレンド基金の支援により、平成26年8月に開館した仙台子ども体験プラザにおいて、全市立小学校とモデル中学校32校で「スチューデント・シティ」「ファイナンス・パーク」のプログラムを実施する。
- **いじめ・不登校対策** 43,255 千円
- ・ **いじめ対策の総合的な推進【拡充】** 9,010 千円
学校におけるいじめや不登校の未然防止及び早期発見、発生時の迅速かつ適切な対応を推進する。平成27年度は、(仮称)いじめ対策支援チームによる学校巡回を新たに実施するほか、いじめ防止「きずな」キャンペーンの拡充、(仮称)いじめ防止「学校・家庭連携シート」の作成等を予定。
 - ・ **仙台まもらいだーインターネット巡視** 4,918 千円
児童生徒のサイト上における誹謗中傷の書き込みや個人情報の流出等、インターネットに関わる問題を早期に発見し、学校に情報を提供するほか、削除依頼や学校の指導に係る技術的な助言等を行う。
※人件費 4,304千円、物件費 614千円
 - ・ **スクールソーシャルワーカー配置【拡充】** 8,856 千円
児童生徒の不登校や引きこもりなどの課題解決を図るため、その背景にある家庭環境の問題などに対し、社会福祉的な視点に立った専門的な助言指導や関係機関との連絡調整を担うスクールソーシャルワーカーを教育委員会に配置する。平成27年度は、2名増員し3名体制とする。
※すべて人件費
 - ・ **不登校児童生徒支援【拡充】** 20,471 千円
適応指導センター「児遊の杜」において、不登校の児童生徒を支援する各種事業を実施する。平成27年度は、八木山地区に新たに適応指導教室「杜のひろば・八木山」を開設し、適応指導体制のより一層の充実を図る。
- **市立高等学校就職支援員配置事業** 9,252 千円
企業において人事担当等を経験した者を、進路指導教諭の補助として3名配置することにより、仙台商業高、仙台工業高、仙台大志高の進路指導の充実を図り、企業開拓と生徒のニーズに応じた就職支援を行う。
※人件費 8,604千円、物件費 648千円
- **就学援助** 775,402 千円
経済的理由で就学困難な児童生徒に対する就学援助制度について、生活保護基準に基づき算定している認定基準を平成26年度と同額に維持し実施する。
- **特別支援教育指導補助員配置事業（一部緊急雇用創出事業）** 200,765 千円
通常の学級において、発達障害があり、特別な支援が必要な児童生徒の学習や学校生活を支援するとともに、学級担任等の指導を補助するため、指導補助員を配置する。
※人件費 200,248千円、物件費 517千円
- **特別支援学級指導支援員配置事業（一部緊急雇用創出事業）** 91,494 千円
小・中学校の特別支援学級のうち、在籍児童数が多く指導が困難になっている学級に対し、各学校や教員の取り組みを支援するため指導支援員を配置する。
※人件費 91,139千円、物件費 355千円

- **給食センター対象校アレルギー対応拡充事業【拡充】** 18,305 千円
 現在、食物アレルギー対応食の提供を行っていない学校給食センター対象校への提供拡充の一環として、平成27年度中に、荒巻学校給食センター対象の小学校に対して、専用の調理室を有する高砂学校給食センターから提供を行う。
- **陸奥国分寺跡等整備** 28,433 千円
 「史跡陸奥国分寺・尼寺跡整備基本計画」に基づき、第1次整備工事の一部工事を実施するとともに、公有化した史跡地の維持管理を行う。
- **仙台城跡整備** 17,532 千円
 「仙台城跡整備基本計画」に基づき、復旧事業解説サインの作成設置等を行う。
- **宇和島伊達入部400年祭記念事業** 2,907 千円
 宇和島伊達入部400年祭、歴史姉妹都市提携40周年を記念する行事として、仙台に発祥を持つという宇和島市指定無形民俗文化財「八ツ鹿踊り」を招聘する。
- **小学校統合** 218,513 千円
 平成27年4月の貝森小と国見小、坪沼小と生出小の統合に係る諸整備を行うとともに、統合に伴い閉校となった松陵小、貝森小、坪沼小の跡施設の利活用を図る。
 ・ 小学校統合 130,070 千円
 ・ 学校跡施設利活用 88,443 千円
- **津波被災校統廃合** 20,641 千円
 津波により被災した学校（荒浜小学校・中野小学校・東六郷小学校）について、閉校・統合に向け必要な準備を進める。
- **校務支援システム導入推進** 4,215 千円
 校務の効率化を推進する校務支援システムの導入・構築に向け、基本設計等検討部会及び導入業者選定のための評価委員会を開催する。（システム構築・導入・運用に係る経費については、別途債務負担行為を設定、平成28～33年度で780,000千円）
- **県費負担教職員権限移譲事務【新規】** 33,377 千円
 平成29年4月に実施される県費負担教職員給与事務等の県から指定都市への移管準備のため、教職員の人事管理上必要となる情報システムを整備するほか、給与、定数、学級編制、勤務条件等の制度設計や事務処理体制構築等の事務を行う。
- **図書館情報システム更新【新規】** 18,999 千円
 平成30年1月に予定される図書館情報システムの更新に向けて、次期システムの設計業務委託を行う。